

# 2014年12月期 通期決算説明会

**GMO**ADPARTNERS

STOCK CODE : 4784

代表取締役社長 高橋 信太郎

取 締 役 森 竹 正 明

## 本資料お取扱上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2015年2月6日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

- 1 結論と要約
- 2 通期決算概要
- 3 今後の成長戦略
- 4 事業別概況

# 1 結論と要約

## 売上高25.5%増、最終利益132.5%増

(単位：百万円)

	2013 1-12月	2014 1-12月	前年比
売上高	18,923	23,742	+ 25.5%
営業利益	659	656	▲ 0.6%
経常利益	653	650	▲ 0.5%
最終利益	180	420	+132.5%

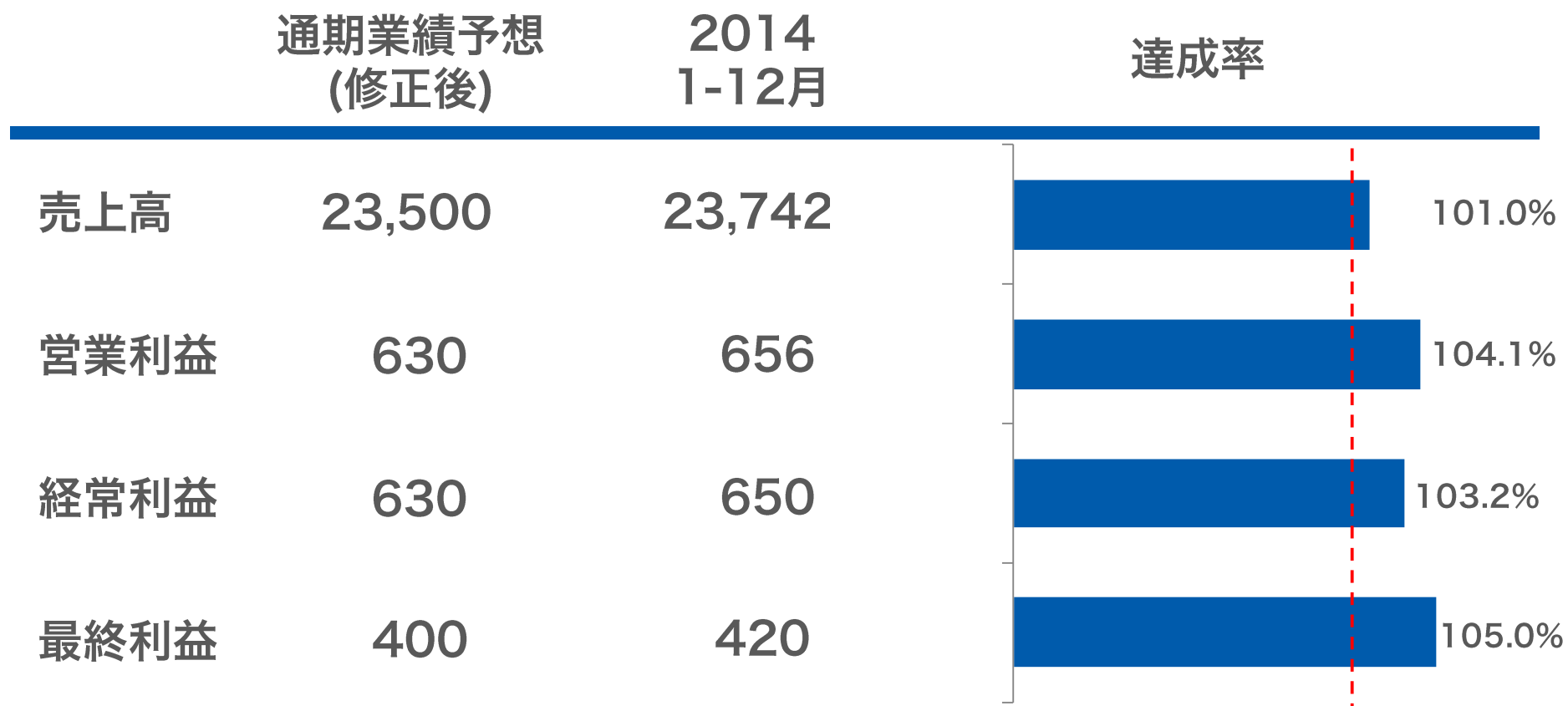
## 連結子会社合併に伴う持分変動利益、のれん減損損失を計上

(単位：百万円)

	2013 1-12月	2014 1-12月	前年比
特別利益	14	117	+704.7%
特別損失	66	86	+ 29.5%
法人税等	372	205	▲ 44.7%
少数株主損益	49	56	+ 14.5%

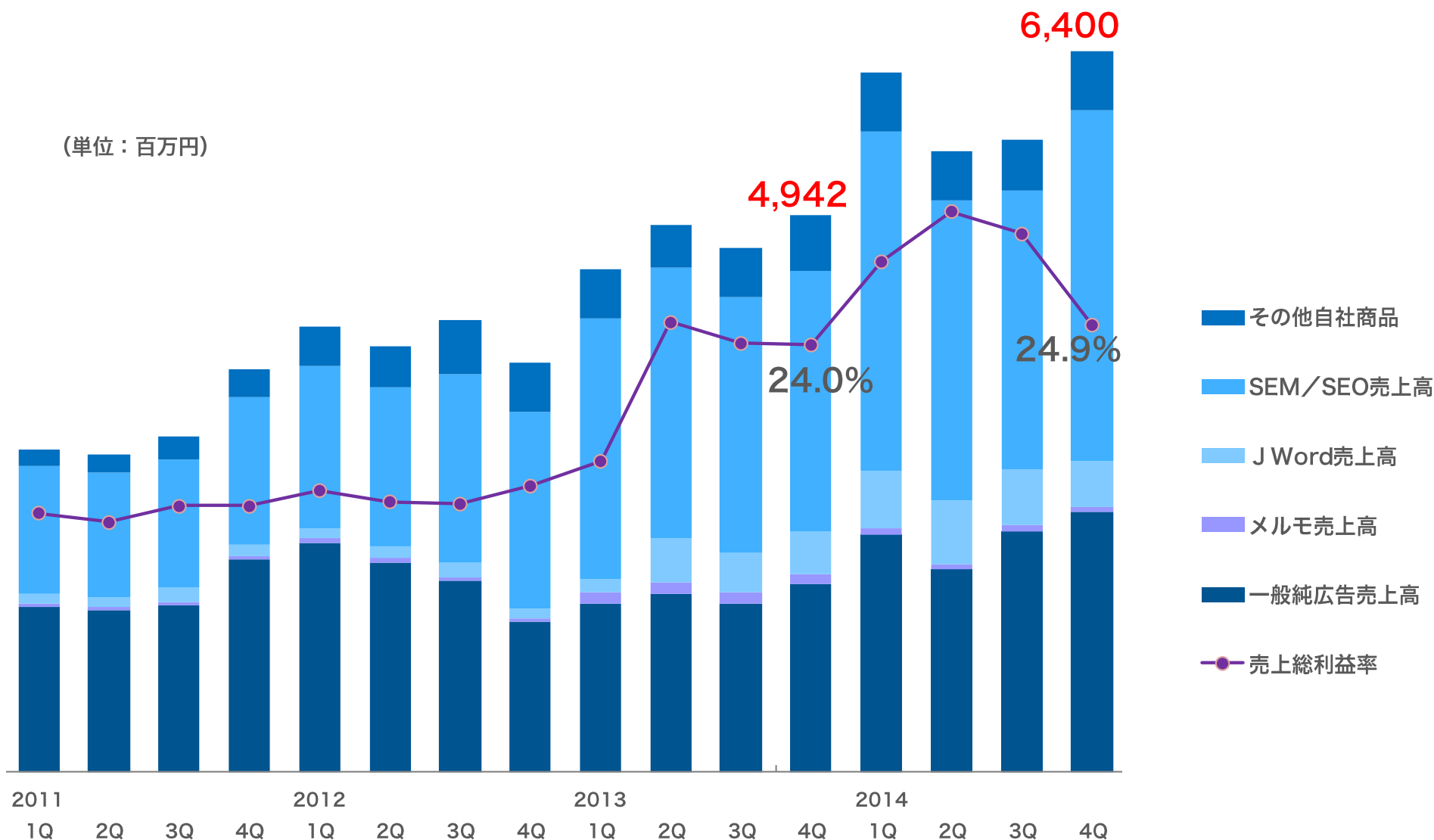
# 通期業績予想は売上、利益ともに達成

(単位：百万円)



# 四半期売上高は過去最高を達成するも利益率低下

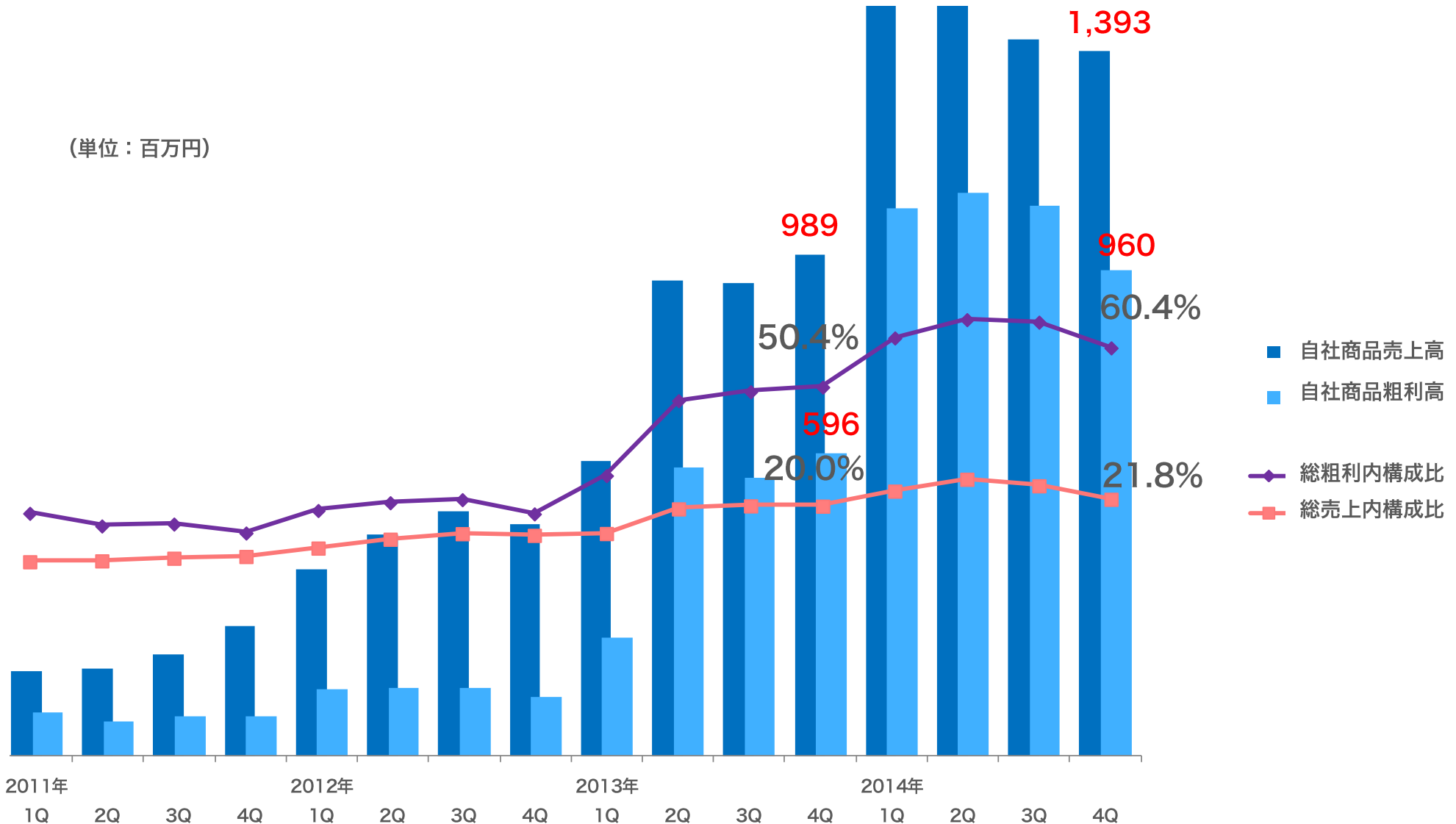
(単位：百万円)





# 売上高構成比が21.8%、粗利構成比が60.4%

(単位：百万円)



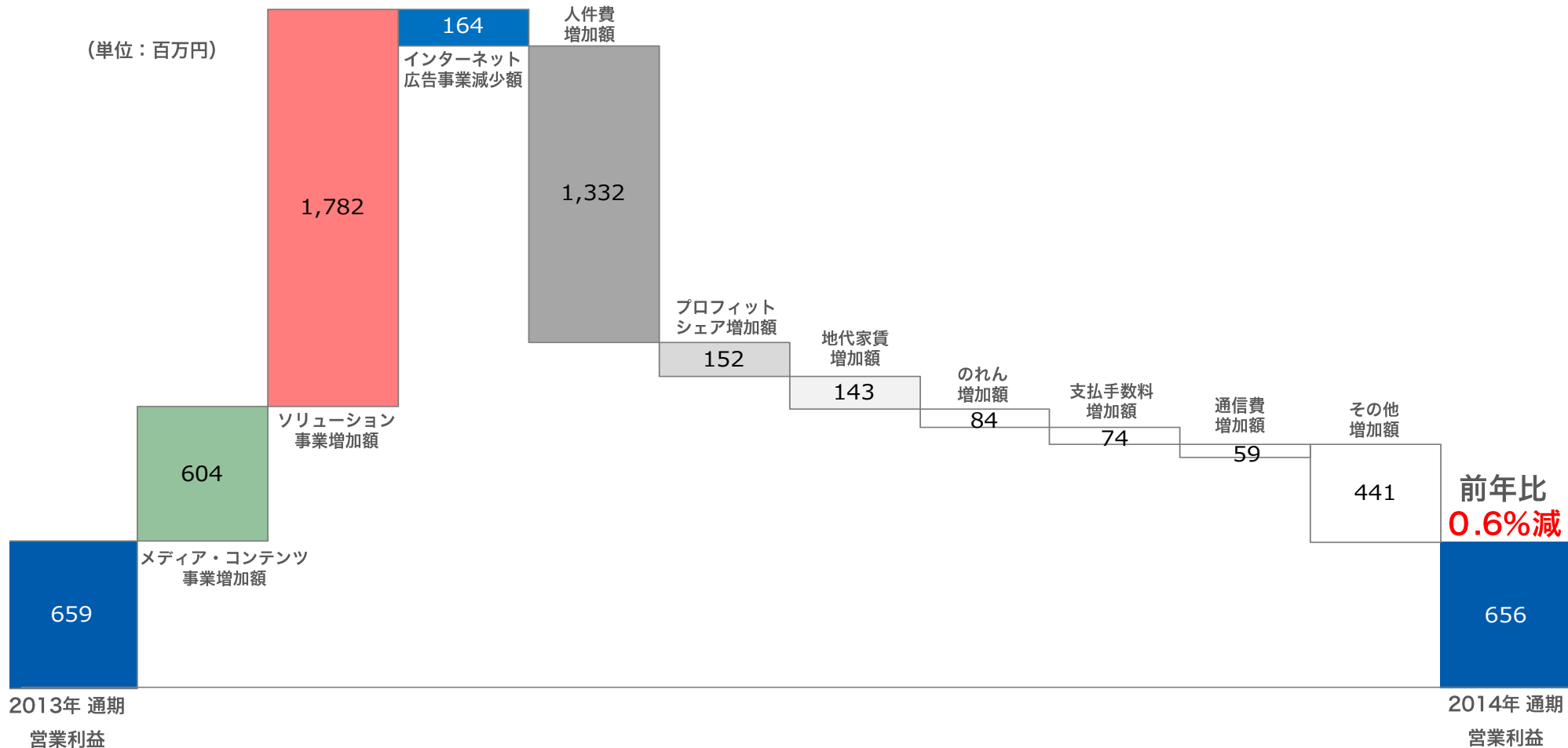
- 自社商品売上高
- 自社商品粗利高
- ◆ 総粗利内構成比
- 総売上内構成比

## 2 通期決算概要

## 売上高、最終利益が増加

(百万円)	2013 通期 (1-12月)	2014 通期 (1-12月)	前年比 (%)
売上高	18,923	23,742	+25.5%
売上原価	14,567	17,162	+17.8%
売上総利益	4,355	6,580	+51.1%
販売費及び一般管理費	3,696	5,923	+60.3%
(販管費率)	19.5%	24.9%	+5.4pt
営業利益	659	656	△0.6%
(営業利益率)	3.5%	2.8%	△0.7pt
経常利益	653	650	△0.5%
当期純利益	180	420	+132.5%

# メディア・コンテンツ事業、ソリューション事業で利益増加したものの 人件費増加を吸収できず、営業利益前年比0.6%減



## 流動資産が約3割増加、純資産比率は50.1%

(百万円)	2013 4Q (12月末)	2014 4Q (12月末)	前年比 (%)
流動資産	5,422	7,310	+34.8%
(現金預金)	1,762	2,461	+39.7%
固定資産	3,027	2,910	△3.9%
資産合計	8,449	10,220	+21.0%
流動負債	3,618	4,950	+36.8%
固定負債	166	148	△10.8%
負債合計	3,784	5,099	+34.8%
純資産	4,664	5,121	+9.8%
(純資産比率)	55.2%	50.1%	△5.1pt

## 営業キャッシュ・フローは改善、現金及び現金同等物も増加

(百万円)	2013 4Q (1-12月)	2014 4Q (1-12月)
営業キャッシュ・フロー	357	870
投資キャッシュ・フロー	△ 1,707	△ 339
財務キャッシュ・フロー	383	△ 275
現金及び現金同等物の増減	△ 963	277
合併による現金及び現金同等物の増減	0	471
現金及び現金同等物の期首残高	2,985	2,021
現金及び現金同等物の期末残高	2,021	2,771

## ③ 今後の成長戦略

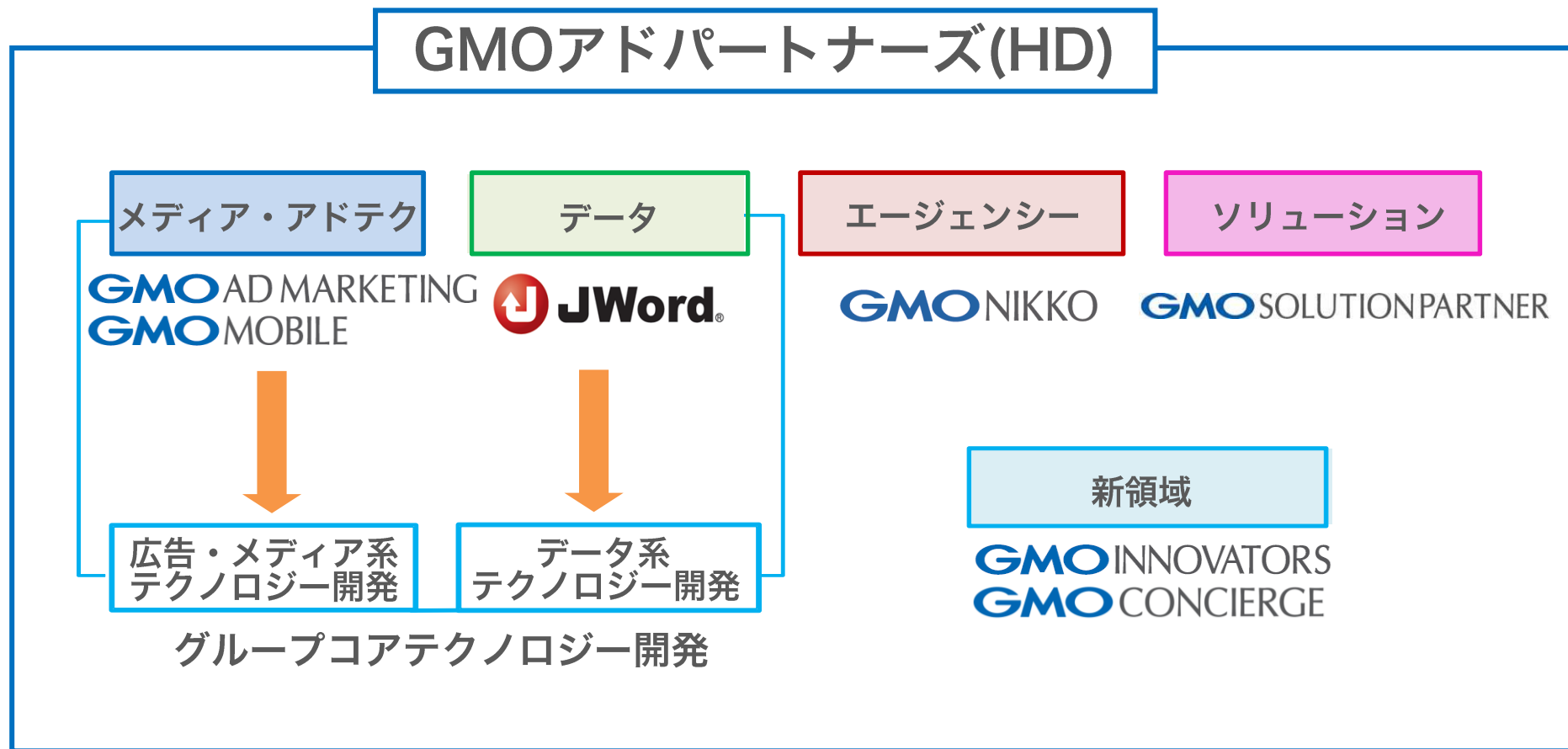
## 2015年のテーマ

成長角度・スピードを上げるため、  
2015年は足場作りに注力

- ① 純粋持株会社体制へ移行、**4つの領域**で構成
- ② 飛躍するための**戦略的投資**、特定2領域で実行



# 2015年からは**4つの領域**と新領域で構成



2015年度に戦略的投資**5.6億円**を実行

メディア・アドテク  
領域

スマホSSP配信数 **国内No1**  
メディア開発強化

エージェンシー  
領域

プライベートDMP  
販売体制強化・機能拡充

## 戦略的投資の実行により、営業利益63.4%減

(単位：百万円)

	2014 通期実績	2015 投資前予想	2015 通期予想	前年比
売上高	23,742	26,000	26,000	+9.5%
営業利益	656	800	240	▲63.4%
経常利益	650	800	240	▲63.1%
最終利益	420	456	0	— %

## 4 事業別概況

## 2014年は3つの事業領域で構成

### ①インターネット広告事業

メディアレップ事業

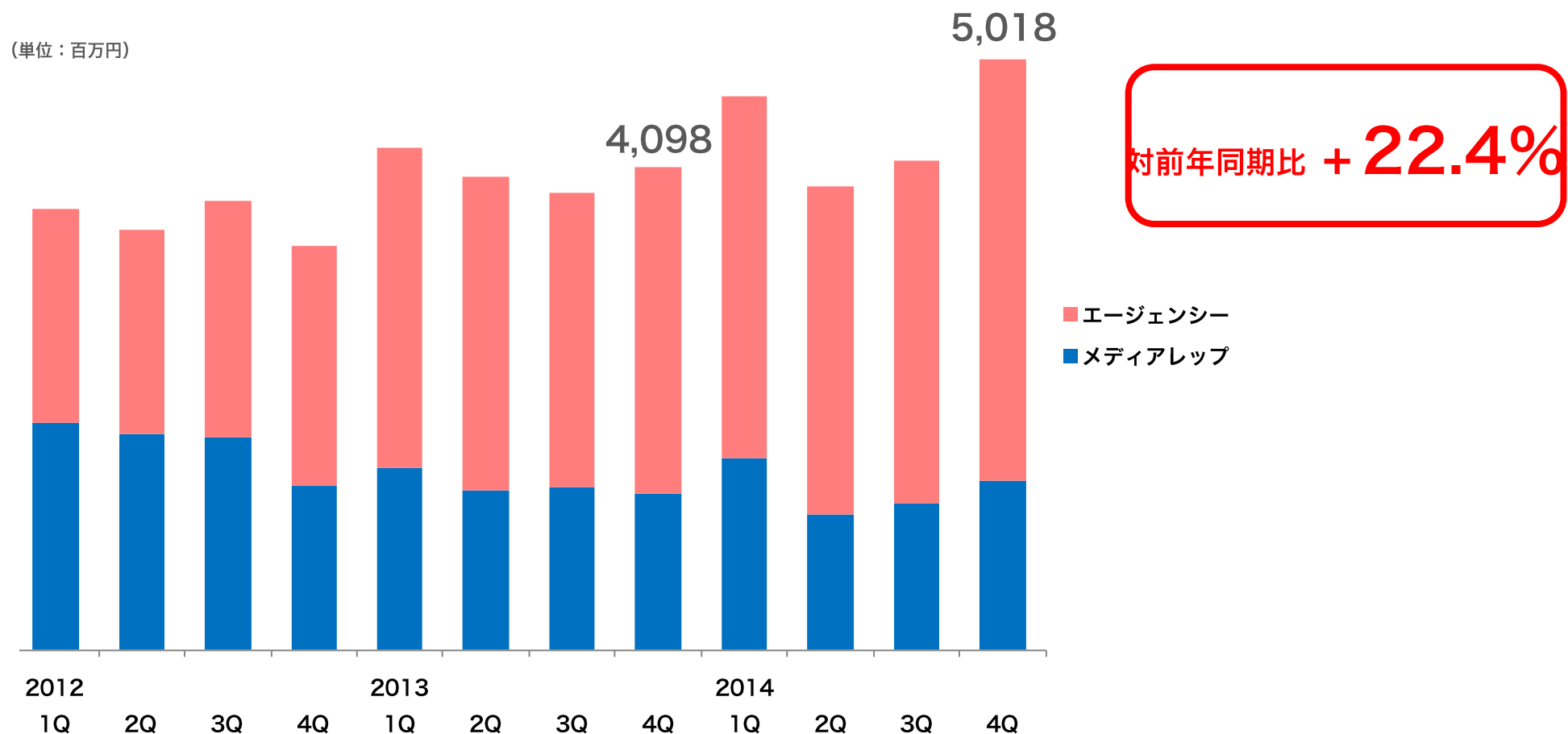
エージェンシー事業

アドテクノロジー開発

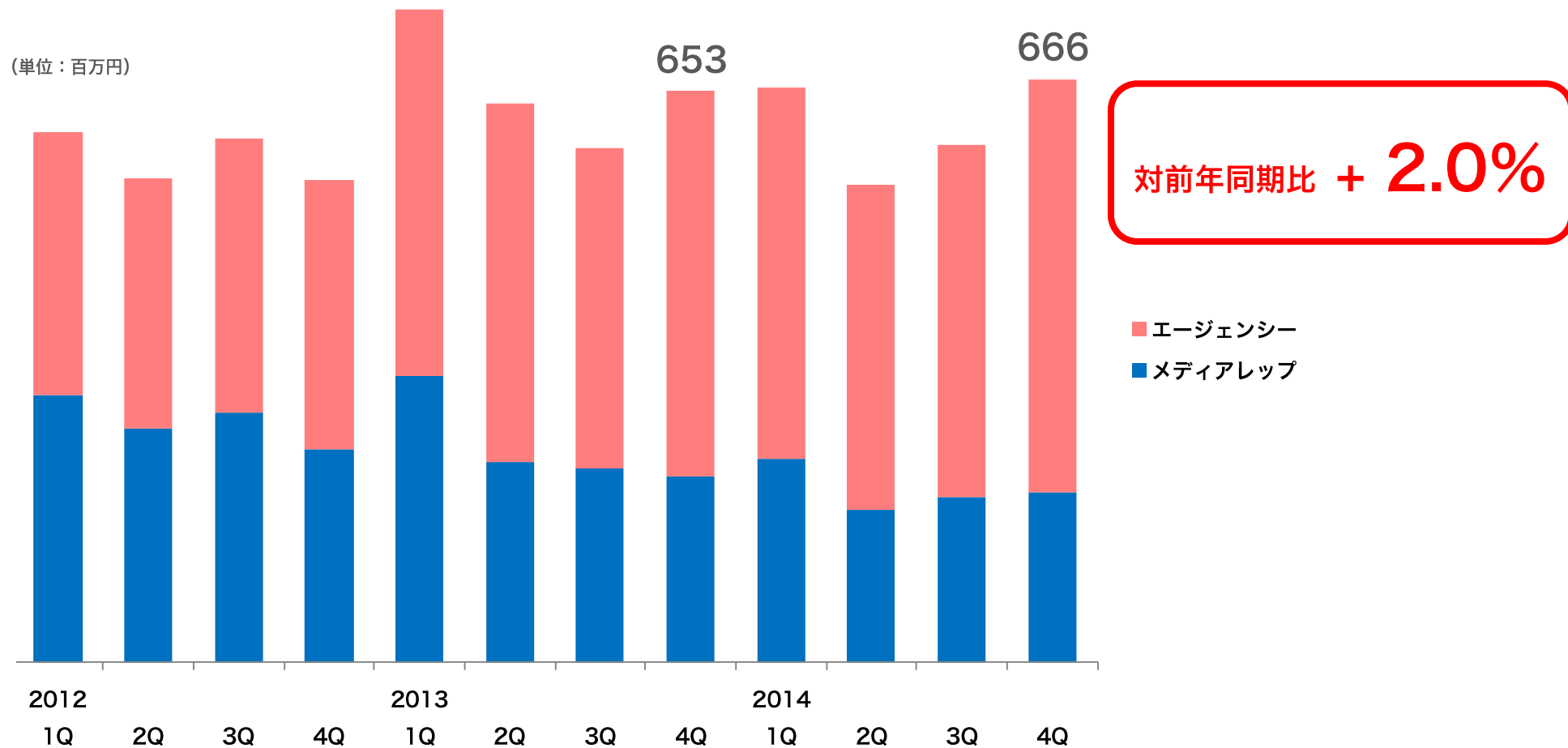
### ②メディア・コンテンツ開発事業

### ③ソリューション事業

## 広告事業売上高は季節要因の影響もあり増加

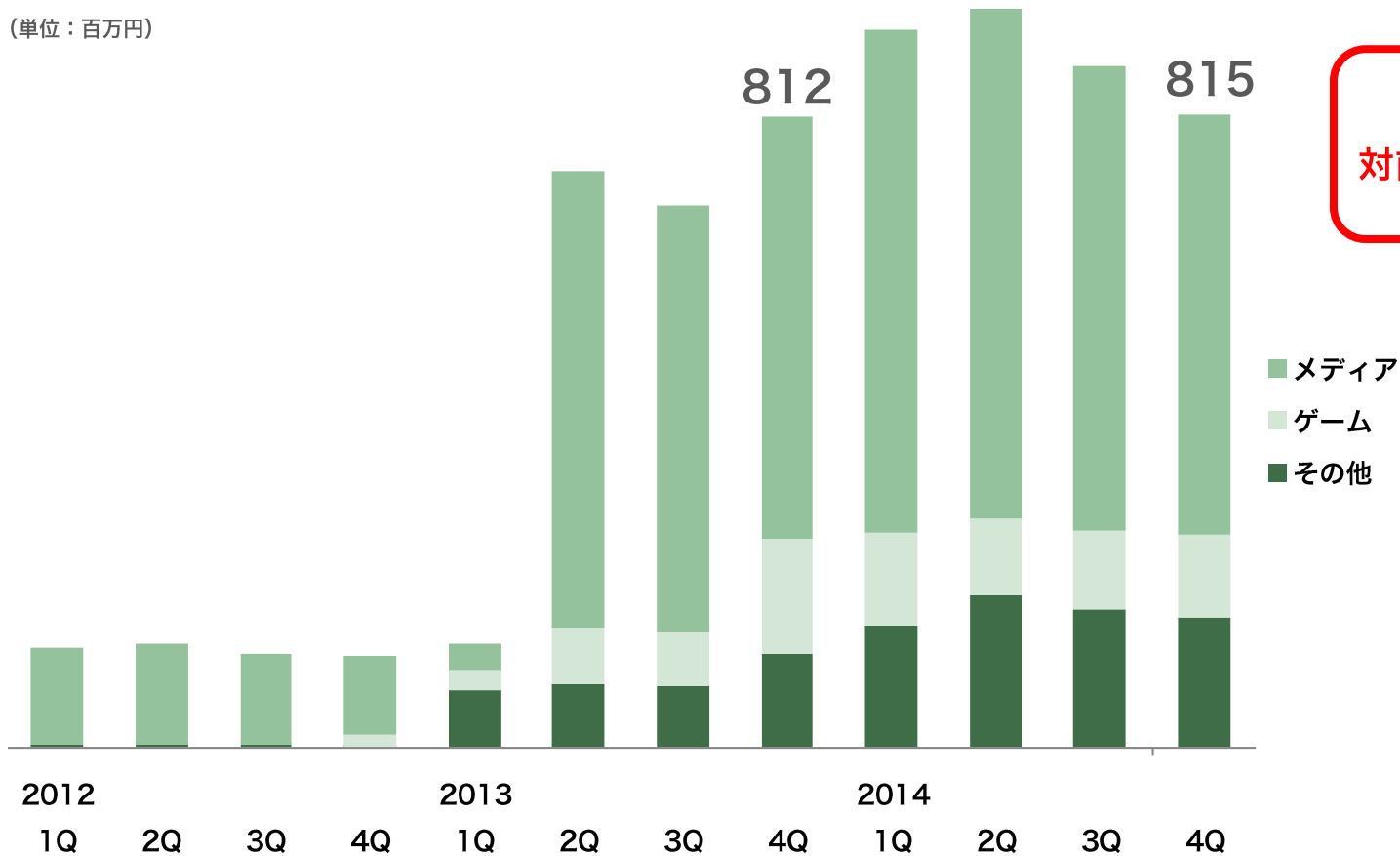


## レップ事業は構造改革実施、エージェンシー事業は再強化



# 自社商材のJWord販売体制再構築の遅れが影響

(単位：百万円)



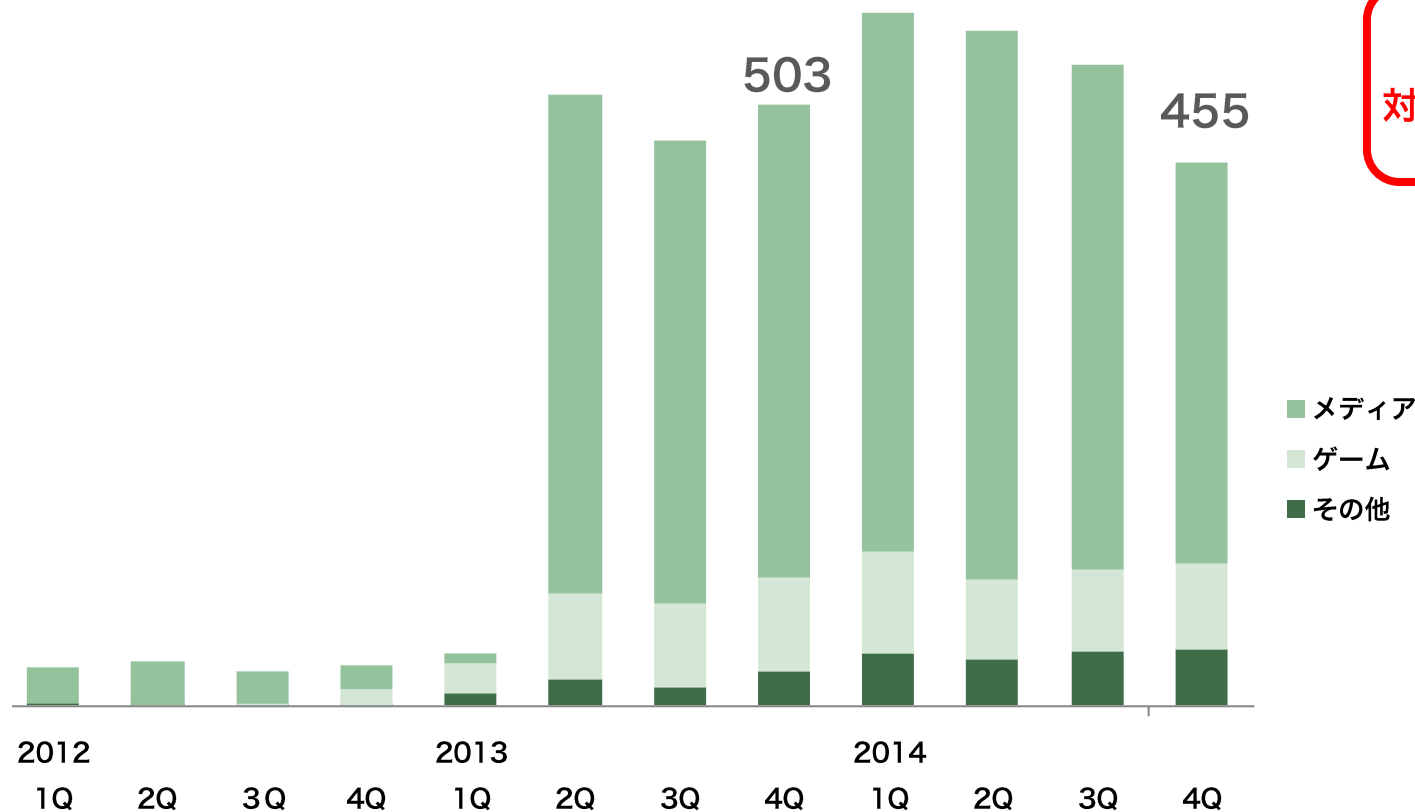
対前年同期比 + 0.3%

- メディア
- ゲーム
- その他



# 自社商材のJWord販売体制再構築の遅れが影響

(単位：百万円)

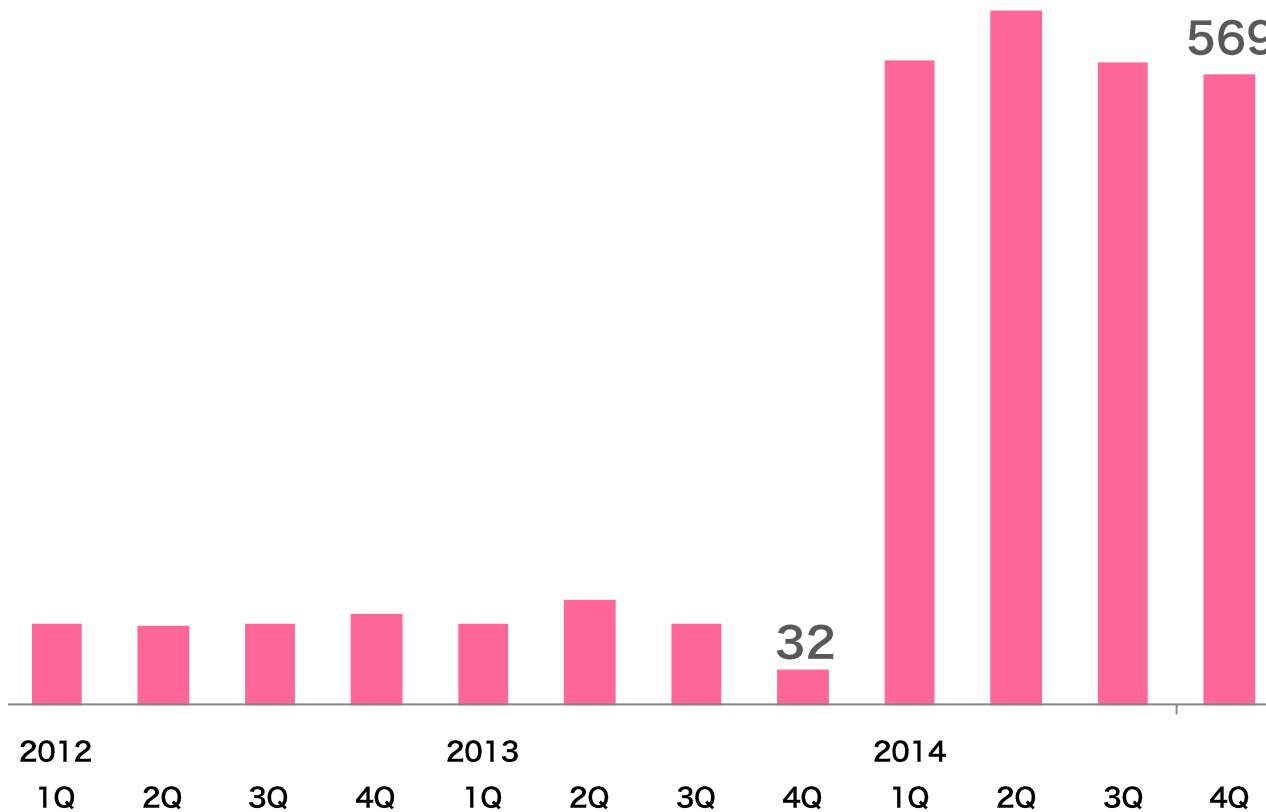


対前年同期比 ▲ 9.5%

■ メディア  
■ ゲーム  
■ その他

## GMOソリューションパートナーの連結寄与

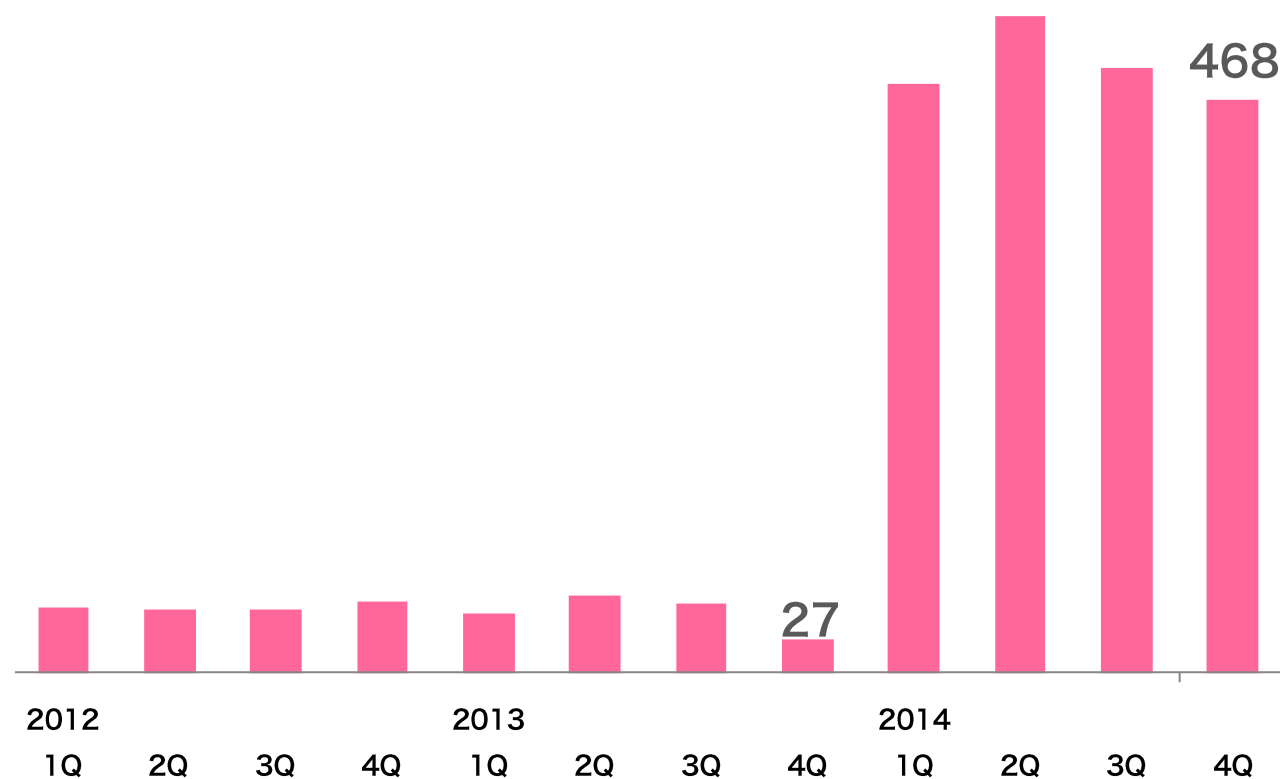
(単位：百万円)



対前年同期比 +1693%

## GMOソリューションパートナーの連結寄与

(単位：百万円)



対前年同期比 +1642%

本日はありがとうございました。

GMO ADPARTNERS